

# 田園に眠る 遺跡と神社の地 コース

約6km



高岡市では、にこにこ笑顔の毎月25日は「たかおか健康づくりの日」としています。  
この日はご自身やご家族で、地域で、健康づくりに取り組みましょう。

## みどころ

2000年前から県内でもめずらしい古代遺跡が眠り、中世は十禅師文化が栄えた歴史の豊かな地域を、北陸新幹線や高岡環状線などの交通網が走る、緑深き農村地帯です

### ① 荊波神社

平安時代には京都の妙法院福田庄の「十禅師明神社」として、地域文化の中心となって栄えたお宮である。  
加賀藩の時代には、福田惣社として藩から「諸役免除」の御印を戴いたのが、明治初期の排仏毀釈令により、社名を荊波神社に改名された。現在も地域全体の惣社として信奉されている。



### ② 宮川神社

奈良時代には日宮社、鎌倉時代には神明社が創建されていた所である。  
明治に入り、この二社が合祀され「宮川神社」となった。  
御祭神は、天照皇大神、豊受大神、大日靈貴命である。



### ③ 少彦名神社

御祭神は、少彦名命である。日本書紀には、大国主命と共に国造りを行われた神として書かれている。  
古くから、農業や薬の神として崇められ、多くの方が参拝されている。



### ④ 石塚遺跡

縄文時代晩期、特に弥生時代の遺跡は県内を代表する遺跡である。  
石名瀬A、蔵野町東、石塚靖保(どんぼ)その他の遺跡もあり福田公民館にそのミニ遺跡展示室がある。

